



### まちの話題

「これなら安心して乗れる」と救出作業を感心して見守っていた。

姿をみせた渡り鳥

秋が訪れ、日光国立公園の高原にいたいはやくも秋草の香たかく、はやくも色つきはじめた山々の静けさを

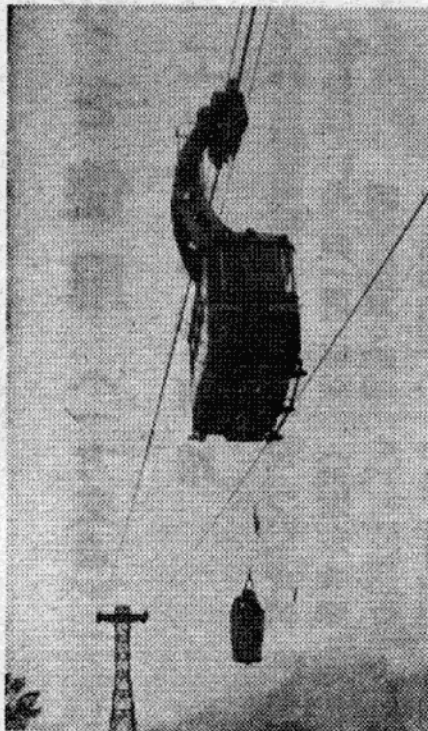
### 電気パノラマ

市の観光課では、紅葉のシーズンをまえに、大いに日光を宣伝しようと、電気パノラマ広告を作った。この電気広告装置は、陽明門や、華嚴滝、中禅寺湖畔などを天然パノラマで見せられている。

(写真、浅草駅の電気パノラマ)

### ロープウェイの救出訓練

中禅寺茶ノ木平ロープウェイは、緊急の際、乗客を安全に避難させるため、9月12日、霧の中で「応急降下訓練」を行った。この訓練は、途中高さ三十五メートルの地点でストップ、予備エンジンも故障した想定のもとに行なわれ、屋根にウインチを取りつけ床の脱出口から救命袋を下ろして救出するもので、一人わずか五分のわりで全員無事脱出に成功、見物人も



訓練中のロープウェイ

### 中禅寺駅前に苑地

東武興業は、三百万円で、中禅寺駅前に二千三百平方メートルの苑地を作り、付近の空地を全面舗装して、その中に花壇三つを作った。花壇には、サルビアなど季節の花が咲き、そろ



夢みるコマクサの群落

中禅寺湖畔平手ヶ浜に住む伊藤

い、旅情をなぐさめている。

### 中宮祠小中運動会

秋は運動会のシーズンだが、9月13日、中宮祠小中の運動会が開かれた。これは市内



藤乙次郎さん(58)は、山の植物を愛して三十年、もくもくと日光の山々を歩い、高山植物と取りくんでいる人だ。

昭和10年ごろ、中禅寺湖畔にロックガーデンを作った、日英混血のハンタという人が、北海道の雌阿寒岳から取り寄せた「コマクサ」の種をわけてもらい、伊藤さん苦勞して育て

だ、種子をまいてから、三年目に花が咲くが高山なので、うまくいっても四、五年かゝる見込みだが、いまに、男体や奥白根に、コマクサの群落を出現させようと、大きい夢をえがいている。

(写真はコマクサを大事に育てる伊藤さん)

### 新刊紹介

あけた。コマクサは、高山の砂レキ帯に生え、葉は緑の色の上にク粉白色が重なった色。一株から数本、十センチ位の茎が出て、その上に紅色のスミレ状の花が咲く。伊藤さんは、この「コマクサ」が百株も育ったので、ことし8月にとれた種子のうち、五十粒を奥白根と男体山の砂レキ帯に植えようとはりきっている。伊藤さんの栽培方法

日光の美術と歴史を、新しい角度から紹介する本が発行された。この本は、淡交新社版「日光」で、ふんたんに使っている写真と、日光についての権威者が、学識を傾けてつづいた解説は、日光の自然と人工の美を歴史の陰影の前に浮びあがらせていて、日光に住む者が読んでも、感激させられる。執筆陣には、喜田川二荒山神社宮司、福井早大教授、額賀東照宮権宮司など日光人が参画している。(京都市上京区堀川通寺ノ内上ル野町、淡交新社発行、五百五十円)

### 日雇労働者健康保険法 (一部改正)

東照宮秋の例大祭  
10月17日  
午前11時から  
武者行列  
午後1時半ごろまで  
産子の慰安演芸会  
(一流芸能人招待)  
午後2時、6時 2回  
場所 日光公会堂

日雇労働者健康保険法の一部を改正する法律が、この6月15日に公布され、すでに各事業所では、改正手続きを終っている。こんど改正になった主な点は、つきのとおり。  
①療養の給付および家族療養費の給付期間が、1年から2年に延長。  
②分べん費が二千円から四千円に、配偶者分べん費が、千円から二千円に引き上げ。  
③新しく特別療養費を設定。はじめて被保険者となった最初の3カ月について、被保険者とその被扶養者の疾病、負傷に五割の医療給付をする。  
④保険料の等級区分を、賃金日額二百八十円以上が、四百八十円となって第一級、四百八十円以下を第二級とする。  
⑤第一級の保険料を日額二十円から二十六円に、第二級を十八円から二十円に引き上げ。  
⑥傷病手当金の支給期間を、十四日から二十二日に延長。  
⑦傷病手当金および出産手当金の支給日額を、第一級二百円から二百五十円に、第二級四百円から四百五十円に引き上げた。またその被保険者に被扶養者がなく、病院または診療所に収容されている場合は、一日につき、第一級百三十円から二百二十円に、第二級九十円から百六十円にそれぞれ引き上げ。  
⑧改正の要点中の②は公布の日から、そのほかは昭和36年7月1日から施行になる。